

豊中市幼保こ小連絡協議会 令和7年度(2025年度)夏期研修会 開催報告



8月5日(火)に開催した今年度の夏期研修会では、
保育士・保育教諭・教諭をはじめ、子どもに関わる大人が、子どもの姿を通して語り合い、
主体的な遊びや学び、支援の在り方、環境づくり等について研修しました。

実施内容

第1分科会	「生活と学びの中で自分の考えを伝え合うための環境を通した関わりって何だろう？」 認定こども園さくらづか保育園 公開保育
第2分科会	「遊びの中には学びがいっぱい～小学校に繋がる幼児教育～」 幼保連携型認定こども園庄内こどもの杜幼稚園 公開保育
第3分科会	「保育・教育の質の向上をめざし、具体的な活動の様子から架け橋期を考える」
第4分科会	「架け橋期の教育保育の充実に向けて、校区の実践から学び合う」
第5分科会	「社会的養護が必要な子どもたちにとって必要な接続を考える～児童養護施設で暮らす子どもたちの理解と支援を通して～」

受講感想抜粋

(小学校の教職員より)

- *実際に保育現場を見させていただき、子どもたちの主体性を大切にされている取り組み、そのための環境、言葉掛け等たくさん学ぶことができました。特に自由遊びでの遊び込みが素敵だと思いました。友だちや先生と関わり合いながら自分なりに考えて遊びを深めていく姿を見て、小学校でも大切にしたいと感じました。
- *公開保育に参加し、自分で考えて行動する根底がここにはあると思いました。学習活動の中にも取り入れていきたいです。
- *幼保こ小の連携はとても大事だと改めて感じました。
正しい情報を出来るだけ多く把握していくとより良い保育・教育・養育になると思いました。
- *好奇心や創造性を崩さず小学校教育に繋げていくためには、やはり遊び心が大事だと思います。目標を固めるのではなく、子どもの選択の余地を残したり、大きい心で「おっ！この後どうなるのかな?」「やってみよう」と声を掛けたりしていきたいです。



(就学前施設の教職員より)

- *グループワークでは小学校と就学前施設のそれぞれの子どもたちの様子、取り組み、課題などを共有できました。
- *就学前施設と小学校が連携され、お互いの情報交換の末にしっかり実践されたことは素晴らしいと思った。
- *小学校の先生から現在の小学校の取り組みを聞き、初めて知ったことも多く驚きもありました。幼保こ小が連携していくためにも、小学校の実態を知り、架け橋として双方から歩み寄れたらいいなと思います。
- *自園は乳児のみの園ですが、どんな子どもになって欲しいか、将来を見据えて、目の前の子どもたちに必要な関わりを職員間で再確認していきたいです。
- *小学校教職員との交流があると、より「架け橋期のプログラム」が充実し、保護者のサポートを含め不登校児童の減少につながるのではと思いました。

